

わかやま wakayama 新報 SHIMPO

12月 28日 金曜日

2018年（平成30年）第21751号
（日曜・祝日・休日翌日休刊）



発行所 株式会社和歌山新報社
〒640-8043 和歌山市福町49番 和歌山中橋ビル4階
電話(073)433-6111(代表) URL: <http://www.wakayamashimpo.co.jp/>
FAX (073)433-5440 Eメール: shimpo@titan.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00920-0-318834 番
記事・取材のお問い合わせ…………… 電話(073)433-6114 FAX(073)433-9320
広告・ホームページ制作のお問い合わせ… 電話(073)433-6113 FAX(073)433-8111
ご購読・配達のお問い合わせ…………… 電話(073)433-6112
月きめ購読料 2000円（1部売り100円）

乳がんプロジェクト始動

和歌山トヨタGが知識普及へ

和歌山トヨタグループ（小川至弘会長）で、乳がんの知識を広め、早期受診を訴えるピンクリボン運動「灯・AKARIプロジェクト」が立ち上がった。きっかけは、乳がんで家族を亡くした女性社員の経験。一人の声をくみ上げ、グループ全体が動いた。

「レクサス紀三井 副作用で声も出ず、寺（和歌山市小雑 動けなくなり、何日賀）で働く南直子さんも高熱が続いた。苦んは、姉の美帆さん（享年42）をことし1月、乳がんで亡くした。美帆さんは35歳で乳がんを発症。7年間の闘病生活をきられない人もいた。最後は薬の送った。生きていた者は

女性社員の声くみ上げ



意見を出し合う女性社員たち（和歌山市美園町の和歌山トヨタ自動車で）

何かしないと」と考 小川会長に「社会貢て、企業を通してピ 献活動の一環とし ンクリボン運動に参

加したい」と申し出

た。小川会長も昔、知り合いを乳がんで亡くしたことがある。その時の壮絶な光景が一気によみがえった。「大切な人が苦しむ続ける姿は見ていられぬ。気が持たない。日本女性の11人に1人が乳がん

にかかるといふ。発見が早ければ早いほど、助かる確率は高い。先手を打つこと

「和歌山トヨタ自動車」「トヨタレンタリース和歌山」「トヨタL&F和歌山」から9人の女性社員が集まり、10月1日、プロジェクトが発足した。目標は「女性社員をはじめ、大切な家族やグループに関わるお客さま、全ての方々に乳がんの知識を持っていただく」ことだ。

グループ会社の

「知り合いも乳がんだったよ」乳がんの人、周りに多いよ

「まずは社内です。年明けの1月17日に梅村医師を迎

え、講演会を開く。見た人が乳がんに関心を持つきっかけに

「まずはグループ内で機運が育ち、広がっていきなれば、社員が胸を叩き、南さんには、姉に

「自分にも乳がんの知識があればよかった。もっと早く病院に連れて行けばよかった。思い出すと涙がこぼれる。もう後悔はしたくない。今、生かされていることに感謝している。自分のできることを行動に移していこう。そう決めている。

「南さんには、姉に

「自分にも乳がんの知識があればよかった。もっと早く病院に連れて行けばよかった。思い出すと涙がこぼれる。もう後悔はしたくない。今、生かされていることに感謝している。自分のできることを行動に移していこう。そう決めている。

「自分にも乳がんの知識があればよかった。もっと早く病院に連れて行けばよかった。思い出すと涙がこぼれる。もう後悔はしたくない。今、生かされていることに感謝している。自分のできることを行動に移していこう。そう決めている。

「自分にも乳がんの知識があればよかった。もっと早く病院に連れて行けばよかった。思い出すと涙がこぼれる。もう後悔はしたくない。今、生かされていることに感謝している。自分のできることを行動に移していこう。そう決めている。